

第6回

漢字・言葉の学習②

学習日

月 日

得点

/100点

問一 次の(1)~(4)の( )にあてはまる体の部分の名前を  
あとの( )の中から一つずつえらび、慣用句をかんせ  
いさせなさい(同じ語を二回使わないこと)。(一つ5点)

(1) ( ) をかかえる。

〈意味〉こまごま考えていむ。

(2) ( ) がいたい。

〈意味〉聞いてくれるのがほしい。

(3) ( ) から手がでる。

〈意味〉ほしくてたまらない。

(4) ( ) を引っぱる。

〈意味〉じゃまをする。

首 のど 足 目 耳 頭

問三 次の(1)・(2)の文の――は、どんな様子を表現してい  
ますか。あとのア~ウから一つずつえらび、記号を書き  
なさい。(一つ6点)

(1) てれている妹のほおはりんごのようだ。

ア 赤くなっている様子。

イ 丸くなっている様子。

ウ かたくなっている様子。

(2) 今日はつめたい風がふいて、まるでれいぞう庫の中  
にいるようだ。

ア あまり寒くない様子。

イ 天気が悪い様子。

ウ とても寒い様子。

問四 次の文を【れい】にならって、たとえる言葉を使った  
文に書きかえなさい。(15点)

【れい】父はおおるとこわい。

↓父はおおるとおにのようにつこわい。

・兄は足が速い。

問二 次の(1)~(3)のことわざの意味を、あとのア~ウから一  
つずつえらび、記号を○でかこみなさい。(一つ6点)

(1) 石橋をたたいてわたる

ア 言いわけをして行動しないこと。

イ 思い立ったらすぐ行動すること。

ウ よく用心して行動すること。

(2) さるも木から落ちる

ア 名人でもときにはしっぺいをするということ。

イ 名人はめったにしっぺいをしないということ。

ウ 名人のすることでも安心できないということ。

(3) なき面にはち

ア 相手に仕返しをすること。

イ 不幸に不幸が重なること。

ウ 幸運がおとずれること。

問五 次の□には漢字を書きなさい。また、( )には送  
りがなを書きなさい。(一つ5点)

(1) 水が□になる。

(2) □をたんけんする。

(3) 列車が□を通る。

(4) 車を□する。

(5) □な本を読む。

(6) 走ったあとは息が□。

(7) 入場が□。

答えは「答えと考え方」